

元気なまちかど

市民交流で両市の絆を深める

ミシガン州友好親善使節団来市

滋賀県を訪問したミシガン州友好親善使節団24名のうち37歳から64歳の7名が甲賀市を訪れ、10月18日から23日までの6日間、市内でホームステイをしながら観光や交流を楽しみました。22日には、自主活動センターきずなで、市民との交流サロンが行われ、市内を中心とした参加者の皆さんと食事をしたり、書道や折り紙などの日本文化体験をしたりして交流を深めました。

ミシガン州から訪れた使節団の方は、一個人的に親しく話をする時間は、両市の絆を強くするとても良い機会」と話し、時間を惜しみながら会話を楽しんでいました。



▲市民の皆さんと交流を楽しむランチサロン

地域とともに「リサイクル作戦」

大野小学校

大野小学校全校児童によるボランティア活動「リサイクル作戦」が10月29日に行われました。



▲各家庭を回り資源ごみを回収する大野小学校児童

この取り組みは、同学校が学区全戸に呼びかけて、新聞紙や雑誌などの資源ごみを回収するもので、収益金はユニセフへの寄付などに充てられます。働くことの尊さを学び、環境についての意識を高めることを目的に平成2年から開始され、毎年恒例の行事として地域に根付いています。

当日は、縦割り班に分かれた児童が、旧東海道沿いを中心に各家庭を一軒ずつ回って集め、指定の集積所まで一輪車で運びました。

子どもたちは、地域の方に励まされながら、力を合わせて取り組んでいました。

旧東海道の魅力を世界に

We Love Japan Tour 2013

日本の多様な美しさや知られざる素晴らしさをブログを通じて世界に伝えようと、二人の外国人が日本を縦断するツアーが10月4日から始められ、10月25日に南ルート歩く旅人のシンガポール人女性、Raina Ongさんが旧東海道を歩くため甲賀市を訪れました。

当日は、天候の影響でウォーキングは中止されましたが、東海道伝馬館や土山宿本陣のほか、甲賀流忍術屋敷などを見学しました。

本陣では、宿帳や調度品などを通して全国の大名を受け入れていた当時の様子の説明を受け、レイナさんは「晴れの日にまた必ず訪れたい」と古い町並みに思いを馳せていました。

※レイナさんのブログは、「We Love Japan Tour 2013」のホームページ <http://www.japan-guide.com/tour/> に掲載されています。



▲京人形100体で再現された大名行列を撮影するレイナさん

「こうかのすぐれもん」を巡る

こうか商工まつり2013

「交流と創造 こうかのすぐれもんみつけた」を今年のテーマに、こうか商工まつりが10月27日、忍の里プラザで開催され、多くの家族連れで賑わいました。

会場には、地元企業をPRする企業出展エリアと地域の食材を取り入れた飲食エリアなどの44ブースが設けられたほか、甲賀市青年部による子どもを対象とした職場体験コーナーや「わんぱく相撲甲南場所」が開催されました。

来場者は、スタンプリリーで各エリアを巡りながら「こうかのすぐれもん」を味わいました。

また、近畿を中心に19体の人気ご当地キャラクターが集合し、来場者とふれあいながら各地域のPRに活躍しました。



▲会場を盛り上げたご当地キャラクターのステージ

剣豪の生地を今に伝える

第10回 辻月丹油日神社奉納武道大会

江戸時代の剣豪で無外流居合兵道の流祖、辻月丹の生地である甲南町上馬杉の油日神社で10月27日、奉納武道大会が開かれました。



▲伝承されてきた技を披露する剣士

この大会は、無外流居合兵道振興会が主催し昭和43年から数年に一度開かれているもので、今回が10回目です。

当日は、大阪などから全日本剣道連盟に所属する7団体27名の剣士が参加し、地域の方が見守る中、真剣を使った形や試し斬り、模範演武を披露しました。

また、昼食には地域の方によっておにぎりや豚汁が振る舞われるなど、大会を通じ地域との交流が続けられており、上馬杉区長の森田さんは、「これからも交流を続けることで、次代にも地域の歴史を伝えていきたい」と話していました。

腹鼓でみんなを幸せに

第4回全国ためきの腹鼓大会

11月8日の「信楽ためきの日」記念日事業が11月3日から10日の8日間、実行委員会、信楽町観光協会の主催で、信楽町内一帯で開催されました。

会期中はためきにちなんだスタンプリリーなど多彩なイベントが行われ、3日に新宮神社で開催された「全国ためきの腹鼓大会」では、市内外から出場した14組が、自慢のおなかの音を披露しました。

出場者は、ためきになりきって「幸せなら腹たたこ」と、音楽に合わせて腹鼓を打ちます。

今回は「信楽ためきの日」PR大使の吉本芸人「ファミリーレストラン」も応援に駆け付け、会場を沸かせました。中には飛び入りで参加する親子もあり、会場は、笑いと信楽ためきのご利益で包まれました。



▲手作りの仮装で「ためき」になりきり腹鼓を打つ参加者